

人権だより (令和6年度12月号)

川之石高校人権委員会 担当 2年次2組

12月7日と8日に、川之石高校創立110周年の記念式典と川高祭が行われました。みなさんは川之石高校の歴史と伝統を感じ、楽しめたでしょうか。多くの保護者の方や地域の方に御来校いただき、素晴らしい行事となったように思います。

人権委員会は昨年に引き続き、ユニセフへの募金活動を行いました。1年次から3年次の人権委員の懸命な呼びかけに応えるように、たくさんの方に寄付をしていただきました。結果として、総額27,945円もの募金が集まりました。保護者の方々、地域の方々、生徒の皆さん、先生方から募金していただくたびに、心温まる気持ちになりました。本当にありがとうございました。人権委員も充実感でいっぱいです。

募金総額「27,945円」を先日、日本ユニセフ協会に送金させていただきました。日本ユニセフ協会から、すぐに写真のような感謝状が贈られてきました。

紛争、災害、多発する危機の中で、世界では3億人の人々が深刻な食糧不安に直面しています。今回みなさんからいただいた募金が、すぐに食べられるペースト状の栄養治療食5,740袋、あるいは、身体の免疫力を高めるビタミンA112,000人分に変わります。一人ひとりの力は小さくても、川高全体の力になるとすごいですね。

先着順になってしまいましたが、募金をしていただいた方にはユニセフからの花の種を差し上げました。種をもらった方はぜひ植えてみてください。

～あなたの1,000円でこんなことができます～

- 下痢による脱水症状を防ぐ経口補水塩(ORS)×147袋
- 1錠で4～5ℓの水をきれいにできる浄水剤×2,500錠
→年間44万人の子どもが下痢等に苦しんでいます。
- ポリオ予防ワクチン×68回分
- えんぴつとノート×25人分
- HIV/エイズ簡易診断キット×7セット
- マラリアを運ぶ蚊から子どもを守る蚊帳(かや)×4張り
→マラリアで亡くなる子どもは1分に1人とされています。



～2学期 人権・同和教育ホームルーム活動～

11月15日（金）の6限目に、2学期の人権・同和教育ホームルーム活動が実施されました。3年次生は、高校生活最後の人権・同和教育ホームルーム活動となりました。

1年次テーマ「自分の周りに目を向けよう」

1組では、八幡浜市の市民意識調査の結果を見て、実際に様々な人権問題があることを再認識しました。そして自分たちがその様々な差別を無くすために何ができるのかを考えました。

また2組では、災害時における要支援者への支援の在り方や人権上の課題について考えました。川之石高校が津波避難ビルに指定されていることから、自分たちが避難所の運営に関わる立場になりうることに気が付き、真剣に学習していました。



2年次「解放への歩みⅡ」……「解放令」～水平社運動～

2年次生は、各クラス共に解放令布告から水平社創立までの経緯を学びました。解放令には歴史的意義があったこと、しかし解放令が出た後も差別が残ったこと。そこで被差別部落の人々が水平社創立に向けて自ら立ち上がったこと、愛媛でも水平社運動に尽力した先人がいたことについても学びました。そして今の自分たちができることについて考えました。自分自身に誇りを持って、現在も残る差別に立ち向かっていくことが大切だと学びました。



3年次「解放への取組Ⅱ」……結婚差別の解消に向けて

3年次生は結婚差別について学びました。結婚観やその形態が多様化する今日でも、未だに無くならない結婚差別ですが、突然現れる差別の芽をいかに見抜き、解消していくかについて各クラスで考えました。学び続けて正しい知識を持っていれば差別に立ち向かえること、周囲の協力が大きな力になることなど、今後の人生にとって大切なことと真剣に向き合いました。



～人権委員会 活動内容報告～

12月6日の朝礼で、人権委員会のこれまでの活動を報告しました。参加した研修会で学んできたことを、みなさんにお伝えできたと思っています。差別を許す側になるか、許さない側になるか、決めるのは自分です。身近に潜む差別を許さない人になりましょう。そのために学び続けましょう。

